



第47回功労者・永年勤続者表彰式を挙行

11月18日(金) 石川県地場産業振興センターにおいて「第47回功労者・永年勤続者表彰式」を開催いたしました。

功労者表彰7名、勤続30年表彰66名、勤続20年表彰134名、勤続10年表彰89名、計296名の方々に表彰状と記念品が授与されました。

澁谷会長は式辞で「皆さんの前向きな取り組みが業界を前進させる原動力となっている」と挨拶し、谷本知事より「未来の産業遺産というべき素晴らしい製品を世に送り出してほしい」とお祝いの言葉をいただきました。

また、来賓を代表して金沢市長代理の丸口邦雄副市長と県議会議長代理の宮元 陸副議長のお二人から祝辞を頂戴しました。

最後に受賞者を代表して、コマニー(株)の中田 衛さんが「諸先輩・同輩・後輩との絆を通じてモノづくりの技術を継承していきたい」と挨拶されました。

なお、表彰式に先立ち記念講演会を行い、石川県歴史博物館学芸課長 本康宏史氏に「モノづくりの系譜『からくりから機械へ』」と題して、モノづくりの原点とも言えるからくり師の大野弁吉についてお話をいただきました。



タイ・バンコク商談・技術交流会

自動車産業で急速な発展をしているタイにて、10月3日から5日の3日間、現地での販路開拓、パートナー探し、材料調達、進出に意欲がある会員企業15社で、商談・技術交流会を行いました。

4日の商談会には、日野自動車タイランドや、カンコン銀行の取引先を中心に、日系企業や現地ローカル企業を合わせて109社202名の来場がありました。来場者へ向けて、当協会の国際委員会山本洋志副委員長から「今回の展示商談会を通して石川県の企業とタイの企業が互いに協力し、互いに成長しましょう」とのスピーチに始まり、会場は新たなビジネスチャンスを求める現地企業や協力企業を求める日系企業の活気につまれ、最終的には419件の商談が行われた。



翌5日は商談会の企業招聘など多くの協力をいただいた日野自動車タイランドやその協力企業である現地ローカル企業CHオートパーツ、ヤザキグループのタイアローブダクツ（電装部品製造）を訪問し、タイでの生産ラインやタイ従業員の教育施設などを見学させていただきました。

商談会前日には、日系企業のタイタカギセイコーとその合併会社である現地ローカル企業AAPICO、それからタイウスイを訪問し、タイ進出検討をしている企業へのアドバイスやタイ人労働者の性格、人件費高騰の問題などをお話いただいた。

今回の商談・交流会で「より多くの販路を開拓できた」、「東南アジア進出のための情報収集が十分にできた」との声が寄せられました。

洪水被害の収束に向け、今回の商談会で得た「つながり」を十分に役立てることを参加企業は考えており、また再度タイ訪問を予定している企業もあります。



いしかわモノづくり産業遺産認定会員企業一覧

昭和時代までに県内企業によって製造し製品化された機械を対象に、機械、繊維、食品、IT、伝統産業等の基幹産業の発展に大きく貢献した機械をモノづくり産業遺産として認定することにより、それら後世に継承すべき貴重な財産について県民の理解を深め、次代を担う若者のモノづくりへの関心を高めるとともに、県内外への情報発信等を通じて、本県モノづくり産業の更なる振興・発展を図ることを目的に、協会会員企業から13社26点が認定されました。



㈱石野製作所
イシノ式麻袋開口器
(昭和39年) 他1点



オリエンタルチエン工業㈱
プシュ捲機械
(昭和22年)



㈱小松製作所
T25トラクタ
(昭和11年) 他6点



澁谷工業㈱
二連式塩洗機
(昭和28年) 他1点



大同工業㈱
木製リム
(明治36年) 他1点



㈱高井製作所
大豆粉砕装置
(大正6年)



高松機械工業㈱
面取旋盤T-650
(昭和39年) 他2点



㈱田辺鉄工所
新皇万能木工機
(昭和34年)



津田駒工業㈱
K型織機
(昭和35年)



戸上工業㈱
マルチブレードソーマシン
(昭和60年)



中村留精密工業㈱
油圧自動タレット旋盤
NT5型 (昭和38年)



㈱ニシムラジグ
面取研削機
(昭和38年)



㈱PFU
USAC3010
(昭和42年) 他2点



いしかわ次世代産業創造ファンド採択企業一覧

石川県内産業の将来の本県経済の一翼を担うことが期待される健康、環境分野などの次世代産業の創出・育成を強力に推進していくことを目的に創設された「いしかわ次世代産業創造ファンド」に会員企業から5社が採択されました。

炭素繊維

(熱可塑性炭素繊維複合材料の用途展開に向けた研究開発及び実用化研究を支援)

企業名	研究テーマ名
オリエンタルチエン工業㈱	熱可塑性CFRPを用いた世界最小チェーンの開発
㈲北鉄工所	CFRP製自動車部品のプレス加工に関する研究開発

※CFRP：炭素繊維複合材料

航空機

(航空機分野への展開に向けた研究開発や試作、あるいは品質管理能力の向上と航空機部品の製造に携わるために必要な国際認証システムの取得を支援)

企業名	研究テーマ名
松本機械工業㈱	航空機部品加工用NCロータリーテーブルの高度化に関する研究開発

新技術・新製品研究開発

(中小企業が有する技術を次世代産業に応用するための新技術・新製品の研究開発及び実用化研究を支援)

企業名	研究テーマ名
㈱明石合銅	高効率誘導モータロータ用ダイカスト金型製造に関する研究
㈱タガミ・イーエクス	革新的な生産性をもった片側スポット全自動溶接機の開発



青年部会だより

10月26日(水)に京都の機・青・連様と交流会を行いました。午前中に㈱タガミ・イーエクスを見学していただき、午後には㈱明石合銅を見学頂きました。その後ホテルへ移動し、当青年部会のメンバーと合同で研修会として㈱山本精工の山本昌作副社長様に「製造サービス業への革新」と題してご講演いただきました。

アルミ製品加工業で製品の70%以上が単品の受注という多品種少ロット生産の山本精工は、工場には人がほとんどおらず整然と並んだ機械がフル稼働しているそうです。そう聞くと人件費を削るために機械に仕事させているように思われますが、山本精工は全く逆で人材を育てる・スキルを上げることに重点を置いておられます。

量産物を製造する場合は、知的作業<ルーティン作業が求められますが、単品物を製造する場合は、知的作業>ルーティン作業が求められるとのことです。

この知的作業の効率を高めるために、IT鉄工所と呼ばれるほど職人技をデジタル化しデータを蓄積されておられます。多品種単品無人化加工の実現はこのデジタル化とそれを支えるプログラマーの育成があつてのことでした。

モノづくりの考え方を根本から変えた生産プロセス統括システム・社員よりパソコンの数が多い・工場なのに油にまみれていない・機械の音がしない・社屋?のような工場など大変興味深いキーワードがたくさんあり時間がアツと言う間に過ぎた講演会でした。機会があれば会社訪問してもっと勉強させていただきたいと思います。

その後の懇親会では、それぞれ団体紹介を行い、石川県、京都府の状況等々について活発な意見交換が行われました。



㈱金太 常務取締役 南 志郎



協会トピックス

●先進工場見学会

開催日：10月19日(水)～20日(木)

視察先：㈱名高精工所、山本精工㈱、㈱堀場製作所

参加者：30名

㈱名高精工所は、単品から量産品(月産16万個)まで、複数工程を社内で一貫生産の体制を確立している。当社の生き残りの戦略としてタイ進出は元請先の海外展開に付随した事業展開を行っていた。

山本精工㈱の生産プロセス統括管理システムのHILLTOPはアルミ加工に特化し、多品種単品の無人加工という極めて相反する事を実現しており、従業員の80%がプログラマーという、今までこのような生産現場を見学したことがなく驚きました。

㈱堀場製作所では排煙濃度モニタリング装置のラインが震災特需がとしてフル生産されていました。驚いた事に排煙濃度の基準値や装置の仕様について日本にある10の電力会社ごとにバラバラであり、全くコスト意識が電力会社には感じられませんでした。



●医療健康機器研究会開催

開催日：第4回10月20日(木)、第5回12月15日(木)

第4回は“医工連携”をテーマに開催、久保田アドバイザーからの基本講義後、奥野金沢大学客員教授を特別講師に迎え“産学官の実例、医療現場のニーズ”について講演をいただいた。基本概論に加え、医学のニーズを知ることにより、今後の開発取組みテーマの検討発端となった。

第5回は“薬事とPL”をテーマに開催、久保田アドバイザーからの基本講義に加え、㈱TSSの中田氏を特別講師に迎え、医療機器をゼロからスタートし、製造販売業承認取得、製品開発の過程のお話をいただいた。

これから参入すべく会員企業にとって、大いに参考になった、と思われる。

●大阪就職博出展（Uターンマッチング事業）

開催日：10月25日(火)、26日(水)

協会では、ジョブカフェ石川の委託を受け、今年度県外新卒者のUターン就職支援に取り組んでおります。10月25・26日には、大阪梅田で開催された「就職博」に参加しました。

内定をもらっていない学生もまだまだ多く、ここで何とか決めたいと学生からも一段と真剣みが増していると感じられました。当協会ブースにはUターンを希望している県内出身者の学生も数名訪れ、県内企業の情報収集を図っていました。



●環境委員会視察会

開催日：11月8日(火)～10日(木)

視察先：屋久島、北九州市環境ミュージアム、トヨタ自動車九州(株)宮田工場

参加者：13名

環境委員会では地球環境保護に視点を移し、屋久島の生態系を視て、環境問題の起点である持続可能な発展のための経済のあり様を学ぶ機会として世界遺産に指定された屋久島を視察した。

今回の視察では地元の方々のエコツーリズムに対する取り組みの真摯な姿勢により、我々が気軽に屋久島の生態系を体験できることの素晴らしさを実感した。

北九州市環境ミュージアムは、世界の環境首都を目指す北九州市が整備する『市民のための環境学習・交流総合拠点施設』であり、6つのゾーンで構成された展示ゾーンでは、北九州の公害克服の歴史や、身近な環境問題から地球環境問題まで総合的に環境を学ぶことが出来た。

トヨタ自動車九州(株)宮田工場は「環境」「安全」に対する取り組みを中心に、視察を行った。ゼロエミッションは3Rで手法は特に珍しくはないが、特に紙は年間20数トンが産廃として発生しており、リユースとして廃棄作業指示書の裏紙をメモ等に使用してその後裁断し近隣の牧場の牛の敷き藁代わりとして使用されており、最後は堆肥として使いきり特異なリユースと感じました。



●次世代経営者育成塾開講（3回シリーズ）

開催日：11月25日(金)

講師：新家 剛（(株)新家製作所社長）、池水龍一（池水公認会計士事務所代表）

鉄工会館にて青年部を中心に計16名で育成塾を開講した。

経営技術指導委員の新家社長からは経営の先輩として語り伝えたい経験談を、池水公認会計士からは、投資、資金計画のあるべき姿を語っていただきました。

●経営技術指導・新分野進出委員会合同視察会

開催日：12月21日(水)～22日(木)

視察先：(株)カネミツ加西工場、(株)大阪工作所、(株)エクセディ本社工場

参加者：11名

(株)カネミツは、独自開発の回転成形とプレスの複合塑性加工技術により、銅板製プーリを自動車、産業機械に供給している。工業所有権は840件を超え、知的財産経営を行っている。

(株)大阪工作所はモノづくり企業の一大集積地である東大阪にあり70年にわたり培った精密加工技術を活かして、産業機械、精密機械部品、航空機部品を製作している。

(株)エクセディは60年の歴史を持ち、クラッチ、トルクコンバータの専門メーカーとして自動車用を中心に供給している。18カ国に工場、拠点を展開しているグローバル企業である。製造工程において女性パワーを有効に活用している。

参加者からは各社それぞれの特徴を持っており、有意義な視察であったとの感想が寄せられた。



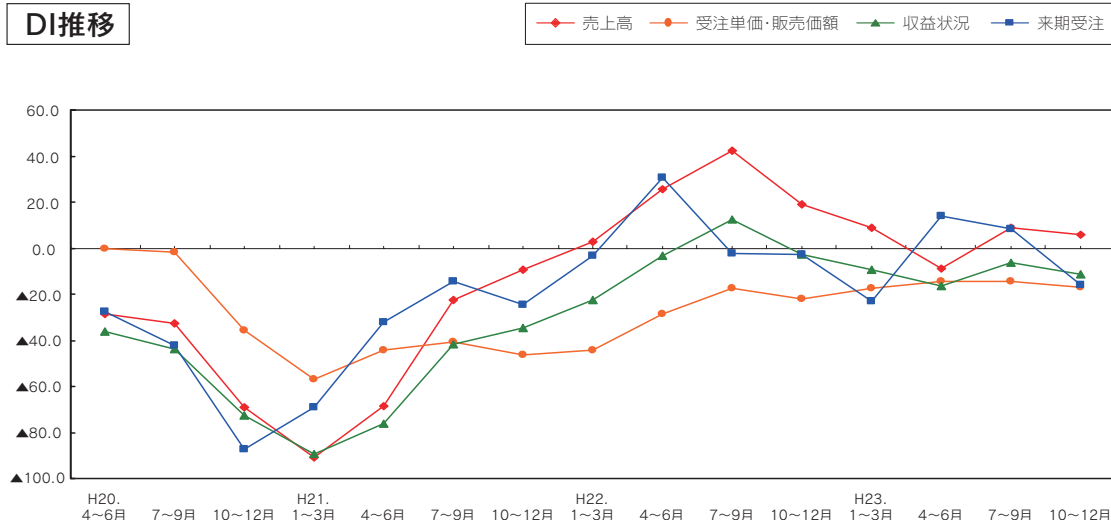
DI 調査結果（平成23年10-12月期）

概況総括：『超円高、世界経済減速懸念等の影響が徐々に始出ており、
先が読めない状況 大震災からの復旧・復興に期待』

【調査概要】

1. 今期（H23年10-12月期）の業況調査のDI12項目では、プラスDIは「売上高」「資金繰り」「操業率」「生産設備」の4項目（前回も4項目）、マイナスDIは8項目（前回も8項目）となった。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」5.6（前回9.0）は、前期に引き続きプラスであるが、逡減傾向にある。
 前回やや改善傾向にあった「収益状況」▲11.2（前回▲6.5）は悪化し、同様の傾向にあった「資金繰り」0.4（前回▲1.8）、「取引条件」▲4.1（前回▲4.6）は横ばいである。
 「原材料単価」▲14.8（前回▲38.3）は世界全体の減速懸念や超円高等の影響により下降傾向にあるが、横ばいが6割を超え実感が無いのが現状のようだ。
 - (2) 現場の繁忙さを現す指標として、「操業率」11.9（前回11.1）、「生産設備」4.7（前回4.1）は、前回同様プラスであり、足元の忙しさはそれなりに続いている。また、「受注残」▲10.9（前回▲13.7）もマイナスであるが、7割近くがここ1~2ヶ月の仕事量は確保しているようだ。
3. 来期については、前期より下降傾向にあった「来期受注」▲16.1（前回8.3）は大きく下振れしマイナスに転じた。また「来期採算」▲24.7（前回▲14.0）、「来期資金繰」▲14.2（前回▲10.4）も同様に悪化している。
 理由としては、欧州発の世界経済の減速や信用収縮懸念、超円高による国内輸出産業の業況悪化、タイ洪水被害の影響などにより、発注側もリスク対策面等からより一層慎重になっている。
4. 「企業経営上の悩み」については、「受注不安定」が46.2（前回43.4）と依然トップであり、「人材不足」13.7（前回15.0）、「採算」9.2（前回11.3）、「競争激化」9.2（前回8.8）と前回同様の順番である。「その他」3.4の内容としては、円高を挙げる企業がほとんどである。
5. 足元の景況は震災後比較的平穏に推移してきたが、景気の牽引役であった中国の金融引き締めによる成長の鈍化、世界経済の減速・信用不安等の懸念、超円高による輸出産業の業況悪化等が徐々に出てきており、これから先の景気動向が非常に読みづらいようだ。
 一日も早く大震災からの復旧・復興に本格的に取り組み、日本経済を再び成長軌道に乗せていただくことを期待している。

DI推移





平成23年度 協会スケジュール

開催日	内 容
	会 議
1月12日(木)	第4回50周年事業企画特別委員会
1月13日(金)	第2回見本市委員会
1月13日(金)	第6回MEX金沢開催実行委員会
1月18日(水)	第4回総務委員会
1月24日(火)	正副会長会議・理事会
2月29日(水)	第4回広報・情報委員会
3月27日(火)	正副会長会議・理事会
	行 事
1月18日(水)	平成24年度予算要望(石川県、金沢市)
1月24日(火)	平成24年新年会員懇親会
1月27日(金)	第2回次世代経営者育成塾
2月 6日(月)	大阪人材相談窓口
2月11日(土)～16日(木)	海外経済視察(インド)
3月23日(金)	第3回次世代経営者育成塾



研修会

詳細なご案内は、開催1ヶ月前にFAXまたはメールでご案内いたします。

また、協会ホームページでも最新情報(随時更新)をご覧くださいませ。<http://www.tekkokiden.or.jp>

てっこうきでんスクール

開催日	区 分	テ ー マ	人数
1月13日(金)	労務管理	中堅管理者教育	30
2月 3日(金)	業務改善	製造現場で進めるコスト改善	30
2月24日(金)	原価管理	分かりやすい原価管理、原価のしくみ	30
3月16日(金)	生産技術	生産技術の考え方、進め方	30

てっこうきでんモノづくり技能継承スクール

日 程	コース名	定員
1月24日(火)～25日(水)	半自動アーク溶接実践技術	10
2月 6日(月)～10日(金)	有接点シーケンス制御の実務	10
2月 7日(火)～ 9日(木)	精密測定技術②(精度管理編)	12
2月28日(火)～29日(水)	被覆アーク溶接実践技術	10

教養シリーズ

開催日	テーマ	内 容	人数
1月25日(水)	5S	全社員で取組む「5S活動」の導入と定着のしくみ	70
3月 9日(金)	溶接	溶接施工技術	50



グッドデザイン賞受賞発表

日本デザイン振興会主催の2011年度グッドデザイン賞が発表され、会員企業から㈱ニシムラジグの「グリッパー」と㈱PFUの「スキャンナップS1100」2社がグッドデザイン賞を受賞しました。

中でも㈱ニシムラ・ジグのタップハンドル「グリッパー」は特別賞である中小企業庁長官賞を受賞しました。審査員からは、『デザインとは関わりがないと思われる製造業が、デザインを活用して独自のポジションを獲得していく先導的なお手本となるだろう』との評価をいただいております。

●工業系高校教員の工場見学会・企業との懇談会

開催日：12月19日(月)

視察先：(株)小松電業所

参加者：工場見学21名、懇談会39名

懇談会では水越裕治人材育成委員長（(株)アクトリー代表取締役社長）のあいさつ、工業部会より工業高校の指導内容、取り組みなどの紹介の後、3グループに分かれて意見交換を行った。意見交換では、企業へ就職するまでに取得してもらいたい資格・技能等、企業からの要望等について話し合われた。



会員情報

平成23年12月15日までにお寄せいただいた内容を掲載しています。

◆代表者の変更◆◆◆◆

社名
(有)共同技研
(株)シコウ
(有)当麻鉄工

新代表者名
加藤 亮
今西良成
当麻 昇

社名
(有)糀谷鉄工所
(株)マルショー
(株)ヤスヨシ

新代表者名
糀谷武志
素都益史
安田芳嗣

◆社名変更◆◆◆◆

新社名
(株)喜多鉄工

旧社名
喜多鉄工

◆住所変更◆◆◆◆

社名
(有)当麻鉄工

新住所
金沢市湊1丁目106

TEL/FAX
076-255-3833/076-255-3853

MEX金沢2012（第50回機械工業見本市金沢）出展者募集!!



テーマ：50年モノづくりを受け継ぎ、磨き、未来に繋ぐ。

会期：平成24年5月17日(木)～19日(土)

会場：石川県産業展示館

出展締切：平成24年2月29日(水)

50回目の節目となる“MEX金沢2012（第50回機械工業見本市金沢）”を本年5月に開催いたします。

会期中は記念セミナーや出展者によるワークショップなども予定しております。

詳細はホームページにて随時更新いたします。

<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>

出展のお申込みをお待ちしております。

ホームページのご紹介

●協会ホームページ
<http://www.tekkokiden.or.jp>



●金沢港ビジネス情報サイト
<http://www.knz-port.jp/>



●MEX金沢
<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>



経済センサス
活動調査



●経済センサス-活動調査は、全国すべての事業所・企業を対象に実施します。

●この調査は、従業員数などのほか、売上高や費用などの経理項目を調査します。